



撓まず 屈せず がんばろう 釜石！

根 浜 地 区

発行：平成 26 年 6 月
発行元：釜石市復興推進本部

復興まちづくり協議会・地権者連絡会 ニュースレター

復興まちづくり協議会・地権者連絡会を開催しました

根浜地区における復興事業のうち、これまでの経緯、土地利用計画（公園沿い道路の標準断面図、暗渠（あんきょ）排水管敷設計画図、暗渠（あんきょ）排水工を含む）、事業スケジュールについて説明し、参加者の皆様と意見交換を行いました。

暗渠（あんきょ）…地下に埋設したり、ふたをかけた水路のこと



開催概要	開催日：平成 26 年 5 月 25 日（日）	時間：17：00～18：30
	場所：市役所第 4 庁舎 3 階第 7 会議室	参加人数：30 人

これまでの経緯

これまで平成 25 年 4 月と 12 月に、まちづくり協議会を開催しています。

平成 25 年 4 月の主な内容は、「前回の意見を反映させた土地利用計画の提示」、「今後のスケジュール」、「災害危険区域の設定」の説明を行い、ご意見をいただきました。

この協議会のご意見を踏まえて計画の見直しを行い、平成 25 年 12 月に再度まちづくり協議会を開催しました。この中では、前回意見を反映させた土地利用計画を再度提示し、今後のスケジュールをお示ししました。

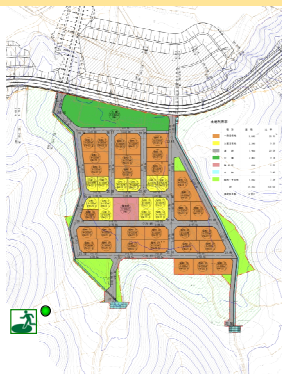
そしてこの協議会での意見を踏まえて造成団地の最終設計に入り、このたび造成設計が終了しましたので、今回のまちづくり協議会でその内容の説明等を行いました。

土地利用計画について

道路は、標準的な道路で、幅員は側溝を含めて 6m の道路を造るようにしています。また、沢からの水を一時ためて、それを下流の河川に流す水路を地区両側に造る形になっています。

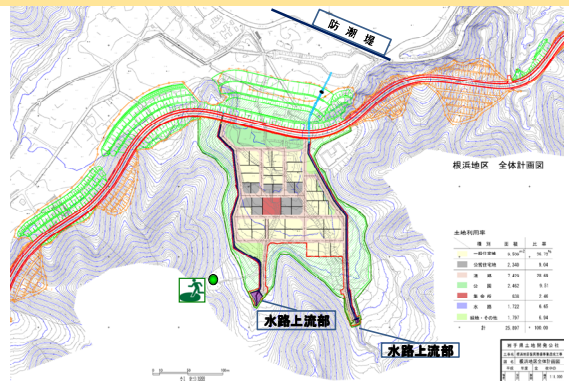
暗渠排水は、盛土内の雨水浸透水をスムーズに排除する役割、また吸収した地下水を滞留させずに下流に排出させるため、設置させていただきます。

前回（H25.12）の土地利用計画案



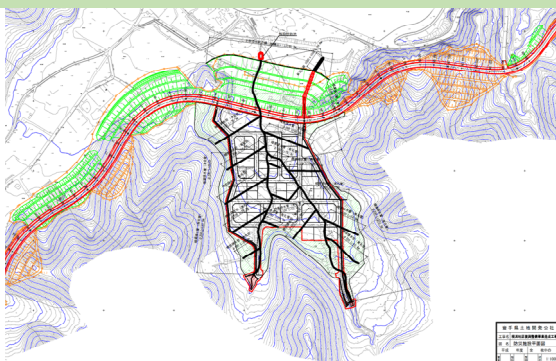
【別添資料 6 ページ】

今回（H26.5）の土地利用計画案（詳細設計）



【別添資料 7 ページ】

暗渠排水管敷設計画図



【別添資料 12 ページ】

【暗渠（あんきょ）排水の必要性】

盛土造成を行う場合に、

- 盛土内へ雨水浸透水をスムーズに排除する
- 吸収した地下水を滞留させることなく下流へ排出するために設置します。

機能として

- ・本暗渠（あんきょ） a) 及び b) の役割をし、所定の通水能力を持つもの。
- ・補助暗渠（あんきょ） 主として a) の役割です。

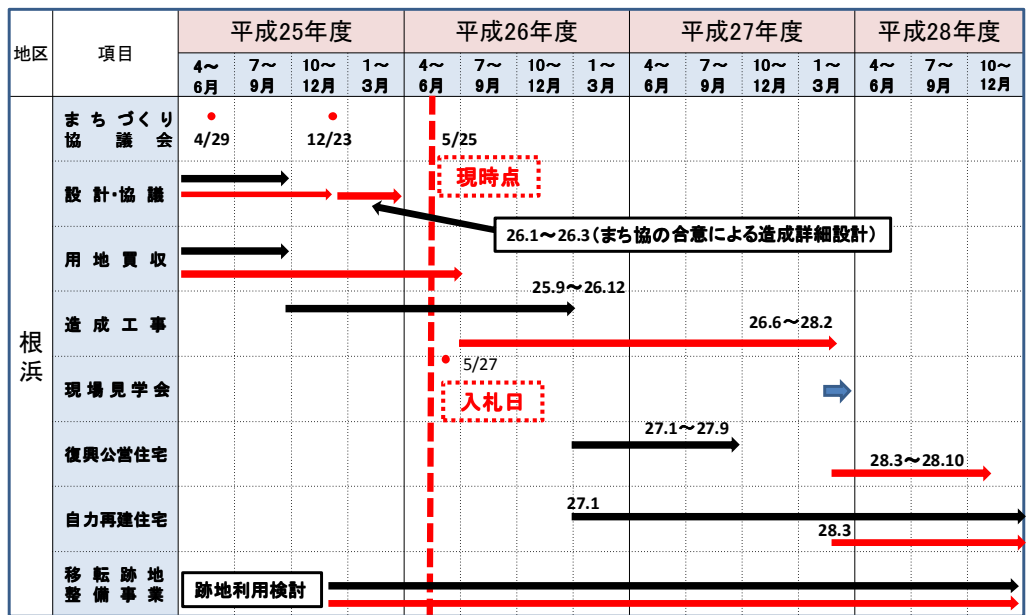
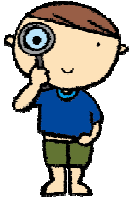
事業実施スケジュール 【根浜地区】について

※進捗状況に応じて前後します。

凡例

→ 黒：前回

→ 赤：実施



このような意見をいただきました

- 当初根浜の計画は早くでき、他地区より早くまちができることと皆期待していたが、遅れることに納得ができない。体の弱い人も多く、早めてほしいので、5月末の入札から9月にならないと工事が進まないことは納得ができない。説明してほしい。

5月末に入札、6月初旬に契約です。施工業者も資材調達、測量調査等を始めます。同時並行の用地関係も順調に進んでおり、このまま進めば、5月末、6月初旬に用地をご協力いただけるので、順次関係する木の伐採などを進め、本格的工事に入るのが7月、8月という段取りを踏んでいます。施工業者が決まり次第、一刻も早い完成に向けて進めるようにしたいと思います。

- 土地に関しては協力をしている。県土地開発公社が設計を出し、入札業者が決まり、設計に時間がかかるのではないかとどう思うか？

公社の業者が決まれば、直ちに造成前工事に着手することができます。重機が入ってきて工事が進むので、CM※とは違うことをご了解いただければと思います。

- 自力再建住宅は平成28年3月からの予定だが、土地の割り当てはそれからになるのか？ それとも、その1~2年前に設計図が出ているため、「あなたが住む場所はここだ」と決まるのはいつ頃と考えているのか？

宅地造成の見込みが先にできますので、見込みができた時点で皆さんの意見を聞きながら割り当てを決める方法を模索していきたいです。できれば自力再建の土地は、地域の方々に決めていただきたく、そのための情報提供をしながら、その仕組みづくりを進めていきたいです。

- 本日工事スケジュール等の説明を受けたが、今後タイムリーに情報を出してもらわないと我々も動きづらい。今日の説明はよいが、これからは県土地開発公社が説明をするのか？ 我々は第2日曜日にお茶会を開いており、地域の方を集めることができるので、その場で進捗を報告してもらえるとありがたいが、可能か？

(市長) 可能です。これからの地域の皆さんとの合意形成、工事の進捗状況の意見交換は、まちづくり協議会もしくは地権者連絡会がその場と考え、重要な場と捉えています。先程言ったように、市・県土地開発公社として、一定の考え方の合意のもとで進めたく、根浜の担当者を通して行っていただきたい。手違いがあっては困るので、町内会の皆さんには今後の意見交換の進め方などをお話しさせていただきたい。それを念頭に、県土地開発公社との意見交換は市担当者も含めて密にやられても良いと考えます。



※CM(コンストラクション・マネジメント)…発注者の側に立ち、設計の検討や工事発注方式の検討、工程管理、コスト管理などの各種マネジメント業務の全部又は一部を行うもの。

復興事業については、できる限り皆様の期待に応えられるよう進めていきたいと思っております。
1日も早く工事を完成させたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



復興計画の事業進捗等については復興新聞や市のホームページでも公開しています。あわせてご覧ください。

■協議会等に関するお問い合わせ
釜石市復興推進本部

TEL: 0193-22-2111(内線132)
FAX: 0193-22-6120